

菅生中だより

北九州市立菅生中学校
学校だより
校長 白石 義人
令和2年2月14日発行

新入生説明会を開催しました

2月7日（金）に来年度入学予定の新入生説明会を開催しました。

説明会では、生徒会執行部が菅生中学校における学校生活の説明や校則の確認等、新入生が理解しやすく内容を精選し、非常に分かりやすい説明でした。また、専任生徒指導主事の田中浩二先生より、部活動や自転車通学のお話があり、その後、短時間でしたが、部活動の様子も見学してもらいました。菅生中学校の部活動は盛んで、部活動生が一所懸命に取り組む姿を見ていただき、良い機会になったと思います。参観した児童は「自分も中学校で部活動に入りたい！！」と興味をもったのではないのでしょうか。

来週は学年末考査です

1・2年生は2月19日（水）～21日（金）に学年末考査、3年生は20日（木）～21日（金）に直前考査を予定しています。令和元年度、最後の定期考査へ向けて頑張ってください。

さて、菅生中学校の生徒の課題に家庭学習があげられます。やらないといけないことは分かっているながら、なかなか継続できないのが現実です。各家庭でやるべきこともたくさんあります。栄養・睡眠をしっかりとることも大切です。家庭学習の時間はそんなに長くはとれません。ではどうすればよいのでしょうか？・・・答えは「授業で勝負！！」そして、家に帰って、もの凄い集中力で短時間の家庭学習を継続する！！です。脳科学者の茂木健一郎さんは、それを「鶴の恩返し勉強法」と名づけています。

『鶴の恩返し勉強法』とはいかなるものか・・・？

書き写す際にいったん教科書を伏せ、その言葉を思い出しながら声を出して書くことで、こうすることによって「これを覚える！！」という信号が脳に出て、その情報は記憶されやすくなるのです。まるで、1本（①視覚のみ）の矢だと簡単に折れてしまうのですが、3本（①視覚 ②聴覚 ③発音やスペリングの際の運動による感覚）になると折れにくくなるということわざのように。同時に色々な情報を集合させた方が記憶は定着するようです。

この勉強法のコツは、なにふり構わず声を上げ、体全体で行うことが重要だと茂木さんは言っています。眉間にしわを寄せ、ブツブツつぶやいているかと思えば、突然大きな声を出したりする・・・。無意識のうちにペンを走らせ、スペリングに集中する・・・。一心不乱にすさまじい形相で学習内容を頭の中に叩き込んでいくわけです。それはまるで、昔話の「鶴の恩返し」で「誰も見てはなりません・・・。」と言って、我が身を削りながら美しい織物を命の恩人に渡そうとした鶴の機織り（はたおり）に似ている。命の恩人である村人にその恩を返そうと、鶴が自らの羽を一本一本抜きながら機（はた）を織る。その時に、「誰も見てはなりません・・・。」とお願いする場面・・・。「誰にも見せられない姿＝誰にも見せられない勉強法」ということで、茂木さんはこの記憶術を「鶴の恩返し勉強法」と命名したのです。

さあ、生徒の皆さん、今後の学習に向けて、自分自身の勉強法を見つけていきましょう。その際、今日紹介した「鶴の恩返し勉強法」を参考にしてみてください。